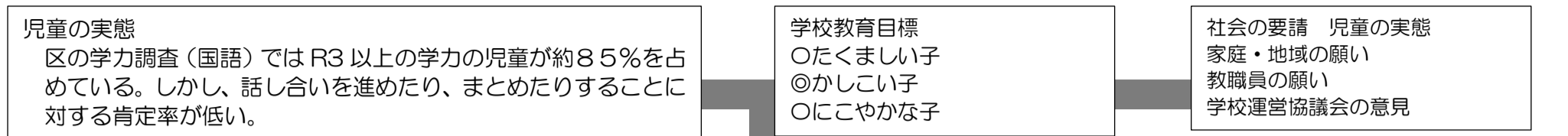


研究構造図

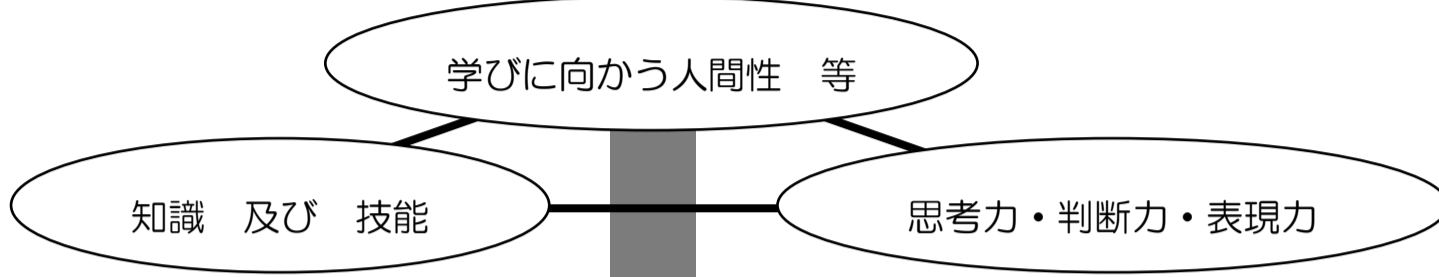
令和2年3月13日現在



〈教育課題〉 次代の教育課題に関わる研究 教科等における学びの構造転換

〈研究主題〉 主体的・協働的な学びを通して、思いや考えを深める児童の育成

〈目指す児童像〉
※資質・能力の観点から



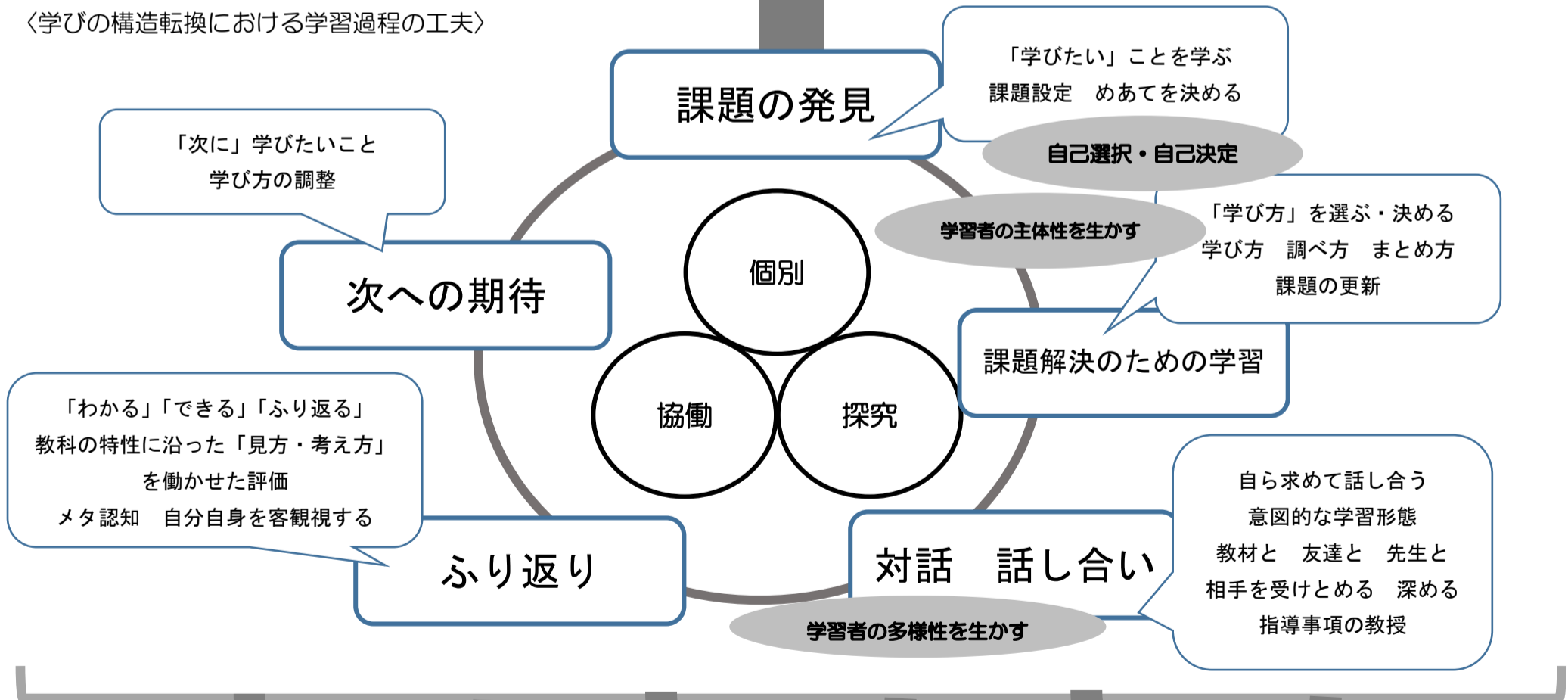
低学年分科会	中学年分科会	高学年分科会	久我山分科会
話すことを楽しみ、お互いの考えを受け止め合える児童	自分の考えをもち、相手の意見を受け止め、考えを比べながら話し合う児童	自分の意見をもち、他人の意見と考えを関係付け、考えを見つめ直す児童	「わかる！できる！活動」を通して、思いを伝え合う児童

平成31年度・令和元年度

〈国語 話すこと・聞くこと領域における授業改善のポイント〉

主体的な学びの視点	対話的な学びの視点	深い学びの視点
<ul style="list-style-type: none"> 課題や話題設定の工夫 児童自身が解決したり、話し合ったりする必然性をもつ。 児童の実態に合わせた教材選択 教科書の題材を基盤にしなが、児童の実態（興味関心・環境等も含めて）に合わせて教材を選択する。 児童から指導事項を引き出す 単元のめあて（よりよい姿）を児童自ら考え引き出し、気づかせて指導事項をボトムアップする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に合わせた対話の力の育成 6年間の指導計画を作成し、系統的に指導する。 日常的な対話の取組 教科や領域に限らず、日常的に対話に取り組む。（ミニ単元・帯単元の取組 朝の活動） よりどころとなる学習カード・掲示物等の作成 児童自らが「話すこと聞くこと」「伝え合うこと」のよい姿や言葉に気づき、よりどころとなるものを作成する。（～MAX 極意等） 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項の具体化 指導事項を予め児童の具体的な姿として捉え指導する。 ねらいに沿った振り返り 教科・領域の特性を理解し、見方・考え方を働かせた学習（身につけたこと、学び方等）の振り返りを行う。 対話の力を生かした学び合い 深まる対話により、考えを広げたり、深めたりする。また、新しくよりよい考えを作り上げ、共に学び合うよさを実感する。

〈学びの構造転換における学習過程の工夫〉



〈支えている
マインド〉

